

# 主 直 日 誌

2月13日（金）天候

主直氏名

## 【実習・課業の具体的な内容】

・冷凍機について ・活餌管理

## 【感想（一日を振り返り、学んだこと、感じたこと）】

今日は初めて活餌管理をしました。活餌管理では、死んでしまった魚が何キロくらいだったか、活餌船の底に沈殿した魚の排泄物を取ったり、いろいろなことをしました。まだ一度しかやっていないため仕事を覚えきれていないので、少しずつ確実に覚えていきます。死んでしまった魚は、棒量りを使って測りメモをします。課業では冷凍機について学びました。冷凍機は2台あり1号冷凍機と2号冷凍機があります。1号冷凍機ではブライン液も活餌も入っていない空の魚船を冷やします。空の魚船にはブライン液に入っていたカツオを冷凍保存するために $-50^{\circ}\text{C}$ まで冷やします。ブライン液で冷凍した後さらに冷やしていき、水揚げまで冷凍しておきます。2号冷凍機ではカツオを最初に入れるブライン液を冷やします。ブライン液は海水よりも塩分濃度を濃くすることで $-15^{\circ}\text{C}$ まで冷やすことができ、カツオを効率よく冷やすことができます。冷凍機は冷媒を使って熱交換をしています。1次プレートと2次プレートがあり、1次プレートでは新鮮な海水と活餌船の海水で熱交換をしています。2次プレートでは1次プレートで冷やされた海水と排出するブライン液で熱交換しています。このように、なるべく冷たいまま排出せずに熱くなっている海水を冷やしてから排出されるようになっていきます。もっとたくさんを知り、今回の乗船が無駄にならないようにしていきます。

2026年2月13日  
冷凍機について、活餌管理

